

Pharmaizm

ファルマイズム

株式会社 ファルマ

弘前市北横町 19-1

Tel 0172-37-6016(代)

発行：編集委員会

印刷：小野印刷

■ 第 105 号 ■

新薬局名決定!

代表取締役 石川 隆之



(完成予想図)

ご承知のこととは存じますが、健生病院・クリニックのアルカディア地区への新築移転が決まりました。それに伴って当社でも新薬局の名称についてはなかなか良い名称がなく職員公募

までしました。その甲斐あって、ようやく新薬局の名称が「ファルマ弘前薬局」に決定したことをご報告いたします。

現在の「弘前調剤センター」という名称には役員共々、相当の思い入れがあることが新薬局の名称に関する議論の中で明らかになりましたが、薬局の名称に関してはアルカディア地区に移転後も弘前調剤センターとしての営業は続けて

いきたいと思っております。したがって同じ名称を使うことが出来ないとの判断で断念しました。また新築移転の地域であるアルカディアという名称はもうすでに使用している薬局が存在することから差別化を図る目的で使用を避けました。さらには新薬局建設地域の住所である扇町という名称も、いまだにこの地域では知名度が低いと判断し使用を避けました。

今回、決定した「ファルマ弘前薬局」という名称は当社の社名である「ファルマ」という名称をつけることによって、近い将来当社の全薬局の名称の頭を「ファルマ」で統一したいということも視野に入れました。

また、アルカディアや扇町という狭い地域に限らずに弘前市全体あるいはその周辺地域まで広くサポートしていこうという意気込みも込めて「弘前」という名称を使わせていただきました。「地域のかかりつけ薬局」を目指し、処方箋調剤だけでなく広い視野で在宅やセルフメディケーションをはじめとして広範囲に医療・介護活動を展開していきたいらと思っております。新薬局完成・営業の際はファルマの他店舗同様、「かかりつけ薬局」として地域の皆様に広く親しまれますようよろしくお願いいたします。

ニアピン賞!!

今回の新薬局名の応募者のうち、残念ながら該当者はいなかったのですが、本部阿部千佳子主任がニアピン賞をもらいました。



原水禁世界大会in広島の報告をする佐々木良太さん



今年も頑張りましょう!!

ファルマ出張報告会・新年互礼会

1月9日(土)ラグリーにて出張報告会、新年互礼会が開催されました。出張報告会では2015年に開催された各地での行事や学習会などを、10人の方から報告

されました。引き続き開かれた新年互礼会では新薬局名の発表などがあり、2016年も職員一同力を合わせることを確認し合う会となりました。

わたしのお気に入り

弘前調剤センター 主任補佐 阿保 香織

グリーンスムージー (green smoothies) : 生の緑の葉野菜と果物と水をブレンダーで混ぜ合わせたもの…

ご覧いただいている写真は薬務室の冷蔵庫の中。一部スペースを占領しているのは、私がお昼に飲んでいるコンビニのグリーンスムージーです。

ある日の仕事の帰り道、コンビニに寄ってお会計を済ませると、「こちらのくじ、1枚お引きください」と店員さん。私の引いたくじを見て、何かを探しに行った店員さんが手にしていたものが…

これが私とグリーンスムージーの出会いです。「な、なんと濃い緑色…」

もう青汁にしか思えないそのパッケージ写真に、一瞬たじろいだ私ですが一口飲むと「うまッ！バナナとキウイが効いてる！」と1本あっという間に飲み干してしまいました。それ以来「1食分の野菜が摂れる」というこのグリーンスムージーは私のお昼の定番になり『グリーンスムージーを飲む私』に女子感・セレブ感を感じながら、



薬務室の冷蔵庫にはスムージーがたくさん!!

いい気になっている今日この頃です。

周りの人にも「バナナとか入ってて飲みやすいよ」と紹介していましたが、この商品にバナナは入っていません。私も最近知ったことで、この場を借りてお詫び申し上げます。



会議に参加する大川薬局長(右から2人目)

東北6県と北海道の薬剤師の代表が年に2回集まり、各県連の状況を相互に報告、全日本民医連からの通達の確認やそれに伴う各県連への依頼、薬剤師支援要請、各地協の研修会の報告や準備の進捗状況などの確認を行います。今回は1月22日(金)23日(土)宮城県仙台市つばさ薬局長町店にて開催されました。

私は前回の7月から(例)おもり健康企画の齋藤先生から引き継ぎ参加していましたが、北海道の鶴山先生や宮城の金田先生など全日本で活躍されている先生もいらつしやるため大変勉強になります。

普段の委員会等では当社や青森県連についての議題がほとんどですが、地協代表者会議では各県連の法人についても知っておく必要があるため、事前に情報収集や勉強が必要となります。今回の会議の内容のひとつである薬学生確保担当者会議では「後継者確保状況と育成について」「高校生・薬学生・奨学生確保について」「各薬科大・薬学部について」「各業科大・薬学部の状況について」などについて話し合いました。

12月19日(土)東京都平和と労働センターにて、全国から医師18名、薬剤師102名、事務6名が集まり開催されました。

今回の会議の目的は、①医薬品をめぐる情勢を学び共有化する②薬事委員会の役割について交流しその任務を明らかにする③利益相反など製薬メーカーとの関係について検討するとともに、製薬企業の新薬宣伝と学会の作成するガイドラインについて問題点を説明することです。

特別講演は、「血圧が下がらない本当の理由」EBMの見方、考え方についてで、講師は臨床研究適正評価教育機構理事長の桑島巖医師でした。

※JBM: Evidence-based medicine (根拠に基づく医療)

地協薬剤師代表者会議 in 仙台

弘前調剤センター 薬局長 大川 誠也

ませんが、前回参加した際に提案した、奨学生を地協内で情報共有し育てる体制を構築してはどうかという意見は現在実施され、貢献

出来たのではないかと思います。各県の代表者と話をする機会は大変有意義で広い視野を育ててくれます。

地協の未整備、双方のモラルの低下、医療ジャーナリストのモラル、専門医のモラルと臨床レベルの低さがあつたと考えられます。

この不正な論文やメーカーのデータに翻弄されな

いたためにも、正しく医薬品を評価する力を育てることが大切です。そのために、医学界および製薬企業双方の健全なEBMの発展と実践を願い、臨床医へ適正情報の提供と臨床研究に必要な統計解析の教育、指導を目的として設立されたNPO法人臨床研究適正評価教育機構(J-CLEAR)の今後の活動が期待されます。

全日本民医連 薬事委員長・事務局長会議 in 東京

藤代薬局 薬局長 相馬 渉

1月23日(土)アピオおおもりで行われた県社保協・青森民医連共催医療介護学習会に参加しました。医療と介護をめぐる情勢と今後の取り組みについてのお話がありました。

講師の全日本民医連林次長は「入院から在宅へ」医療から介護へ」となり、医療費や介護給付費が削減され、国にとつて安上がりな政策へ変わっていくとおっしゃっていました。病床の数も2025年には沖縄や関東の一部を除き、1/3割も

の削減が予測されています。また、施設費用の軽減制度の見直しにより入所継続が困難になったり、待機者にすらならない人も増えたりするということでした。

収入の格差が命の格差を生むという言葉が印象的で、そういうことがあつてはならないと思う反面、これからそのようなことが起こってしまうのではという怖さ

医療・介護学習会

弘前調剤センター 薬事課 鈴木 菜夏

12月24日に弘前調剤センター薬事課佐々木良太さんが結婚しました♡おめでとうございます。(ファルマ共済会親睦会での大発表はこのことでした!)

結婚おめでとう♡

12月24日に弘前調剤センター薬事課佐々木良太さんが結婚しました♡おめでとうございます。(ファルマ共済会親睦会での大発表はこのことでした!)



奥様の亜唯さんと♡

P-CUBE i 意見交換会

弘前調剤センター 薬事課 主任 葛西 祐一

1月13日(水)当社会議室にて、薬局業務には欠かせないパソコンのリース契約満了に伴い、パソコンの入れ替えに向け多くの職員の意見を集約するため「P-CUBEi意見交換会」を開催しました。

意見交換会では、入れ替えによって処理速度が向上し、薬歴記入もこれまで以上に使い勝手が良くなり、非常時にも対応出来る部分を改めて報告することが出来ました。



意見交換会の様子

時期について多くの意見を頂き、事前準備の重要性を再確認しました。システムの向上は、患者様へのサービス向上に直結します。本稼働時のトラブルによって患者様にご迷惑をお掛けしない様に、残り僅かな時間となりましたが、多くの職員のご協力を頂きながらシステム稼働に向け全力を尽くして参ります。